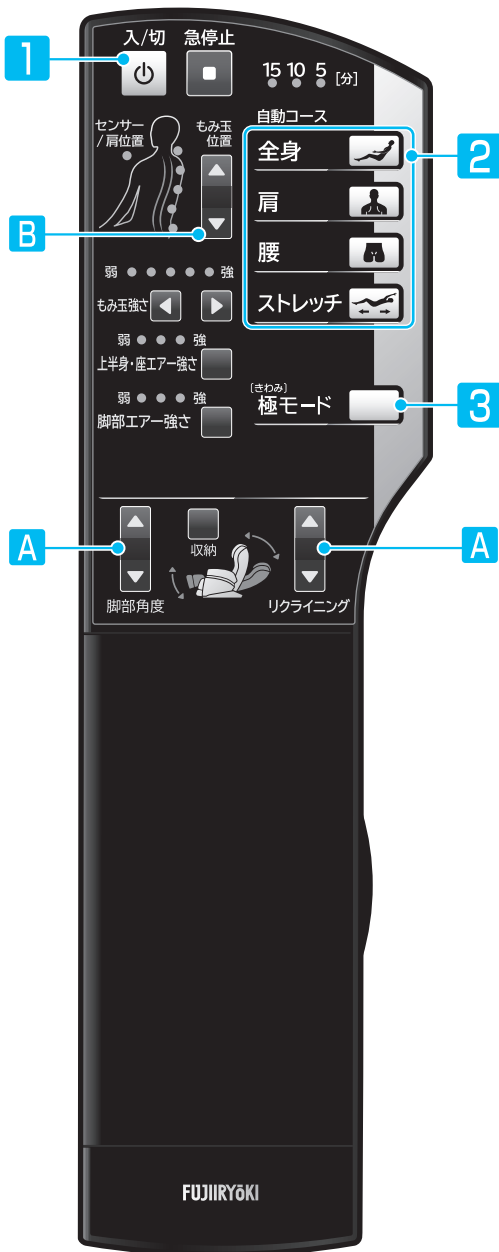



カンタン操作ガイド



枕を後ろに回して、椅子にお座りください。





自動コース





1 入/切  を押します。


-  ボタンが点灯し、背もたれ部/脚部が動作し、スタンバイ位置になります。


A さらに背もたれ部/脚部をお好みの位置に調節する場合は、リクライニング/脚部角度の   で調節してください。

2     からお好みの基本コースを選択して押します。背筋ライン及び肩位置を検出するので、深く腰掛けて頭を背もたれに付けるようにもたれてください。

- 選んだボタンが点灯します。
- 検知が完了すると、マッサージを開始します。
- 一部、背筋ライン及び肩位置を検出しないコースもあります。

B お好みで肩位置を設定する場合は、肩位置の自動検出後に   を押し、手動で肩位置を設定することができます。

3 ^[きわみ] 極モード  で、通常よりハードなコースに変更できます。

- より強いマッサージをしたい場合、^[きわみ] 極モード  を押してください。各基本コースが強い動作を行う極メカコースに変化します。

計8種類の自動コースから選択できます。

基本コース	全身コース	肩コース	腰コース	ストレッチコース
極モード	全身 極メカコース	肩 極メカコース	腰 極メカコース	極ストレッチコース

細かな自動コース中の調節は裏面をご覧ください

自動コース動作中の調節

もみ玉マッサージの強さを調節したいとき

もみ玉強さ ◀ ▶ を押し、お好みの強さに調節できます。

- 強さを9段階から選択できます。
- 選択した強さのランプが点灯します。

エアーマッサージの強さを調節したいとき

上半身・座エア強さ
脚部エア強さ を押し、

- お好みの強さに調節できます。
- 強さを5段階から選択できます。
 - 選択した強さのランプが点灯します。

エアーマッサージを「入/切」したいとき

エア を押し、「肩」「腰・座」「腕」「脚」のエアーマッサージを「入/切」できます。

- 「入」にすると、ボタンが点灯します。



エアオプションを設定したいとき

を押し、各エアオプション「手もみ」「パルス」「ストレッチ」を「入/切」できます。

- 「入」にすると、ボタンが点灯します。

強さのランプ

強さ	ランプの点灯	
	9段階 (もみ技)	5段階 (エア)
弱 1	○●●●●	○●●
2	○○●●●	○○●
3	●○●●●	●○●
4	●●○●●	●○○
5	●●●○●	●●○
6	●●●○●	●●○
7	●●●○●	●●○
8	●●●○●	○●●
強 9	●●●○●	○●●

※自動コース簡単操作については表面をご覧ください

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- (1) 次の人は使用しない。(身体に異常が起こる場合があります)
 - 医師からマッサージを禁じられている人。
(例: 血栓[若くは(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- (2) 次の人は、使用前に医師に相談してください。
 - ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
 - 悪性しゅよう(腫瘍)のある人 ● 心臓に障害のある人 ● 妊娠中、または出産直後の人
 - 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人
 - 体温38℃以上(有熱期)の人
(例: 急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期、衰弱しているとき)
 - 骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折をしている人、捻挫、肉離れなどの急性[とう(疼)痛性]疾患の人
 - 背骨(脊椎)に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人 ● 椎間板ヘルニア症の人
 - その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の入
- (3) リクライニングするときや脚部を動かすときは、必ず周囲(本体の後部、前部、側部、下部など)に人やペット、物がないことを確認する。
- (4) 脚部を下げるときは、脚部の下に足や手を挟まないようにする。また、脚部の下に人やペット、物がないことを確認する。
- (5) 使用前には、背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
(どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
- (6) 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- (7) お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- (8) お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- (9) 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
- (10) 動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先または当社のお客様相談窓口にて点検・修理を依頼する。